## 令和3年度 社会福祉法人中信社会福祉協会事業報告

### 1 事業目標

(1) 経営

働きやすい職場環境の整備を推進するとともに、法人としての方向性を明確にし、 透明性が高く地域社会に貢献する事業運営を進めます。

(2) サービスの向上

利用者、家族等の意見を尊重して、信頼される福祉サービスを実現し、利用者が心豊かな生活を送れるよう努めます。

(3) 地域とのつながり

地域の課題解決や地域ニーズに即した福祉サービスの提供に努めるとともに、地域の方々とのふれあいを大切にし、地域の一員であることを自覚して行動します。

(4) 人材の確保と育成

質の高いサービスを安定的に提供するため、必要な人材を確保するとともに、職員一人ひとりが福祉の専門家としての自覚と誇りを持ち、地域福祉を担う社会福祉人材を育成します。

## 2 取組結果

(1) 経営

ア 平成30年度に策定した「第1次中長期計画」における各事業等の取組状況を 検証し、事業等実施計画及び次年度事業計画を策定しました。

- イ 令和元年度に策定した「中長期財政計画」に基づく財政状況を四半期ごとに分析するとともに、予算に対する収支状況を毎月検証しました。また、グループホーム「さつき」の耐震化改修工事や介護ロボットの導入に当たり、長野県及び松本市の補助金を活用するなど財源確保に努めました。
- ウ 健康経営の取組みとして、衛生委員会を11回開催し、職員面談及び職場巡視 を実施しました。また、管理職向けの「ハラスメント防止研修」を令和4年2月 25日に開催しました。
- (2) サービスの向上
  - ア 新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。) 感染予防対策として、「新型コロナウイルス感染症対策会議」を24回開催し、法人が定めた「危機管理対応表」に基づき、感染予防対策を講じました。これまで、利用者及び職員に感染者を見ることはありませんでしたが、オミクロン株による第6波の感染拡大によって令和4年3月に法人職員数人の感染が確認されました。幸い施設内におけるクラスターの発生もなく、利用者への感染もありませんでした。
  - イ 利用者の意思決定を推進するため、「個別支援計画策定マニュアル」を整備しました。支援計画とサービス提供記録に関する内部検査は、感染症予防対策のため実施できませんでしたが、利用者ケース記録等各種記録システム運用のための

統一的な対応を図りました。

- ウ 職員の人権意識高揚を図るため、長野県が主催する「障がい者虐待防止・権利 擁護研修」(オンライン形式による研修)を受講するとともに、法人主催の「虐 待防止・権利擁護研修」を令和3年10月15日に開催し、職員15人が受講し ました。
- エ 職員の業務中の腰痛等を防止するため、「腰痛予防研修」を令和3年12月 14日に開催しました。

### (3) 地域とのつながり

- ア 在宅支援のためのホームヘルプ事業の実施の方向性について、支援課長会議内 に新たにプロジェクトチームを設置し、事業の必要性(ニーズの把握)や採算性 等の検討に着手しました。この検討を行うなかで聴取りをした他法人が運営する 居宅介護事業所の設置状況を踏まえ、令和4年度も引き続き検討を進めることと します。
- イ 地域における公益的な取組みであるグループホーム「みすぎの森」における無料宿泊体験事業には1件、また、日中の体験事業には3件の利用がありました。 ウ 障害者相談支援事業を引き続き受託し、地域の社会資源との連携を推進しました。
- エ 地域交流、地域貢献への取組みは、コロナ感染症の影響による催し等の中止が 相次ぎました。学校等との交流事業は限定的ではあったものの、その一部につい て実施することができました。

# (4) 人材の確保と育成

- ア 職員採用試験を実施し、新たに6人の職員を採用しました。また、学校訪問、 各種求人情報、情報サイト等を活用し、4人の施設見学者及びインターンシップ を受け入れました。
- イ 働き方改革への対応として、育児・介護休業の取得要件の緩和等及び副業・兼 業の従事等に係る関係規則を改正するとともに、雇用の安定を図ることを目的と する職員登用試験を実施し、5人の職員を第一種職員として登用しました。
- ウ 法人主催による研修は、コロナ感染症の影響を受け、感染状況の小康期において一部の実施にとどまりましたが、次のとおり研修を開催しました。

「新任職員研修」(令和3年4月2日及び10月8日開催)、「係長研修」(10月1日開催)、「経理・事務職員研修」(10月6日開催)、「安全運転講習会」(11月開催)、「虐待防止・権利擁護研修」(再掲)、「腰痛予防研修」(再掲)及び「ハラスメント防止研修」(再掲)

エ 職員が業務の目標、手順、役割等を明確にし、その目標などを上司や職場内で 共有する「職員個別計画」の取組みを令和3年度から開始しました。

### 3 特記事項

(1) 旧松本障害者雇用支援センター建物等の無償譲渡

就労関連事業所の統合に伴い、当法人が使用しなくなった旧松本障害者雇用支援 センターの建物等については、当法人理事会及び評議員会の決議を基に長野県の承 認を得て、特定非営利活動法人ケ・セラに譲り渡す手続きが令和3年度末をもって 完了しました。

### (2) 人材育成計画の策定

「第1次中長期計画」に策定の位置付けのある「人材育成計画」について、新たに計画策定チームを編成し、グループワークを中心とした3回の策定会議による協議・検討を踏まえ、令和4年度から計画期間5カ年の計画を策定しました。今後は、行動目標の達成に向けて具体的な取組みを進めることとしています。

(3) 女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(いわゆる「女性活躍推進法」)が改正され、女性が十分に力を発揮できる社会を実現するため、女性職員の登用や昇進に関する一般事業主行動計画の作成や公表等が義務化されました。これを受け、当法人は、「一般事業主行動計画」を策定し、行動計画及び情報把握・課題分析資料を公表しました。

(4) 「事務事業の見直し」への取組み

令和3年度から着手し、施設及び事業所単位で業務の効率化を図り、無駄を省くため、広範な視点をもって事務事業の点検を行いました。すぐに見直せるものは、速やかに取り組むとともに、法人全体にかかわるものは共通目標を掲げました。令和4年度も継続して取組みを進めます。

### (5) 施設及び設備の充実

耐震診断の結果、倒壊の懸念があったグループホーム「さつき」について、社会 福祉施設等整備事業補助金を受け、耐震化改修工事を実施しました。

## 令和3年度 本部事業報告

(事務局総務課及び経理課)

### 1 事業目標

- (1) 中長期的な事業運営と事務事業の見直し
- (2) 安全な暮らしと信頼されるサービスの提供
- (3) 人材の確保・育成と健康経営の推進

### 2 取組結果

- (1) 中長期的な事業運営と事務事業の見直し
  - ア 法人を統括する部署として、毎月及び四半期ごとに経営分析を行い、改善に向けた継続的な取組みを進めました。また、計画期間の3年目を迎えた「第1次中長期計画」の具体的な取組目標に従って事業運営を進めるとともに、取組状況を検証したうえで、実施計画及び令和4年度事業目標を策定しました。
  - イ 「中長期財政計画」の見直しとして、令和2年度に策定した「福祉施設長寿命 化計画」の反映、新たな収入源の確保策、補助金及び助成金の活用、経費削減の 方法等について検討しました。また、新たに取組みを始めた「事務事業の見直し」 の取組みについては、施設及び事業所単位で旧弊にとらわれない目をもって日頃 の業務を見つめ直し、法人全体で情報を共有しながら見直しを進めました。
  - ウ 決算監査(令和3年5月27日実施)、中間監査(11月26日実施)、会計事務所の巡回指導(毎月実施)及び内部監査(2回実施)を行い、財務規律の強化を図りました。特に、監事から意見のあった新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。)への対応、職員が意欲を持って働くことができる職場環境づくり、支援職員の負担軽減策については、新型コロナウイルス感染症対策会議(以下「対策会議」といいます。)やプロジェクト会議等でさらに研究を進めることのほか介護機器の充実を図りました。
  - エ 社会福祉法に定める公開資料のほか、法人の情報は、法人ホームページをはじめ各種媒体を活用して随時発信しました。特に、法人ホームページについては、法人及び施設運営の透明性をさらに高め、魅力あるものにするため、プロジェクト会議で検討を進め、令和4年度にコンテンツを見直すこととしました。
- (2) 安全な暮らしと信頼されるサービスの提供
  - ア コロナ感染症への対応
  - (ア) 「対策会議」を定例的(月2回、全24回)に開催し、法人が定めた対応基準に基づき感染予防対策を継続して実施してきましたが、より感染力の強いオミクロン株による第6波の感染拡大のなか、職員数人に感染者が発生しました。このような状況においても、危機管理対応等マニュアルに基づく迅速な対応に加え、基本的な感染予防対策が功を奏し、施設におけるクラスターの発生や利用者への感染はありませんでした。

- (4) 産業医、嘱託医及び協力医療機関の協力を得て、利用者及び職員の新型コロナワクチン接種(3回)を完了しました。また、松本市の「まん延防止等重点措置区域に指定された障害者施設等従事者等向け無料PCR検査」等を活用し、全職員、施設関係者を対象としたPCR検査を計4回実施しました。
- イ 防災対策として、市町村が発令する避難情報等の見直しに併せ、有事の際により迅速な実効性ある対応を行うため、「法人大規模災害対応マニュアル」を改定しました。また、防災備蓄品の更新に加え、安否確認訓練(2回)及び法人大規模災害対応訓練を実施しました。特に、法人大規模災害対応訓練(「梓荘」を会場として9月14日に実施)は、これまでの図上訓練から内容を変更し、水防訓練、救助訓練、搬送訓練等の実践的、実技的な訓練を実施しました。
- ウ 法令に基づいた適正な障害福祉サービスを提供するため、施設及び事業所が実 地指導の改善事項等を共有し、法人として個別支援計画等の統一した運用を図る ため、利用者ケース記録等各種記録システムの活用を進めました。
  - なお、所轄庁による社会福祉法人一般指導監査を受けましたが、改善が必要な 指摘事項はありませんでした。
- エ 利用者ケース記録等各種記録システムを効率的に運用するため、施設等において課題となっている事項を改善し、全施設共通の取組目標を掲げました。
- オ 法人虐待防止委員会(2回)を開催し、各施設における虐待防止に関する対応 とその課題について協議し、対応策を確認しました。
- カ 毎月の「事故・ヒヤリハット」の発生要因分析を継続し、法人内で共有すると ともに、支援方法の具体的な改善につなげました。
- キ 「利用者満足度調査」を実施し、利用者の意見、要望等を把握して施設等のサービス改善に役立てました。
- ク 第三者評価受審の準備段階として、評価基準と各施設等における現状を整理し、 導入に向けた取組みを進めました。
- ケ 障がい者が地域において自立した生活を送るため、法人として在宅支援のため のホームヘルプ事業を実施することについての研究に着手しました。令和3年度 はニーズ把握等の調査を実施し、令和4年度は採算性、事業運営等より具体的な 検討を引き続き進めます。
- コ 松本障害保健福祉圏域自立支援協議会の事務局業務を当法人が担ってきましたが、令和3年度末をもってこの協議会は解散となり、令和4年度から運営主体が圏域内の各市村に移行することとなりました。そのため、事務局業務を円滑に引き継げるよう体制を整えました。
- (3) 人材の確保・育成と健康経営の推進
  - ア 複数回にわたる採用試験の実施、学校訪問、施設見学の実施に加え、松本短期 大学主催求人説明会、長野労働局主催福祉の職場説明会及び松本公共職業安定所 主催チャレンジ面接会に参加し、人材の確保に努めました。
  - イ 利用者の高齢化及び障がいの重度化を見据え、介護機器等に関する情報共有の

場を設けるとともに、利用者の身体機能の維持向上、職員の腰痛予防を図る介護技術等を習得する研修を行いました。

- ウ 職員の健康をサポートする健康経営の実践に向け、衛生委員会を開催し職員面 談及び職場巡視を行いました。また、ストレスチェックを実施、産業医による面 接指導に加え、組織分析の結果に基づく改善策を講じました。
- エ 年2回接遇向上週間を設け、接遇に関する自己点検を行うとともに、月間目標 を設定し、事務局としての目標を共有しました。

## 令和3年度 事務局障害者相談支援センター中信事業報告

### 1 事業目標

- (1) 意思決定支援、権利擁護の視点に立った相談援助の実践
- (2) 地域の社会資源との協働による地域生活拠点支援体制の構築
- (3) 相談援助スキルの向上

### 2 取組結果

- (1) 意思決定支援、権利擁護の視点に立った相談援助の実践
  - ア 指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業の実施

障害福祉サービス利用希望のある障がい児・者のサービス等利用計画作成及び利用者のサービス利用状況や意向を確認するモニタリングを定期的に実施しました。モニタリングの実施に当たり、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。)対策について関係機関と調整しました。また、利用者の意思決定支援に配慮し、地域の社会資源を活かした計画策定を心がけました。

なお、定期的に受入検討会議を開催し、令和3年度は7人の新規利用がありま した。

イ 対応困難ケースの検討会議の開催

複雑な課題のあるケースについては、複数の相談員で対応することに加え、総合相談支援センターのコーディネーター、行政関係者及び関係事業所等の助言を得て、多角的な視点から支援方法や受入方法を模索しました。

(2) 地域の社会資源との協働による地域生活拠点支援体制の構築

地域における公益的な取組みとして、「障害者相談支援事業」(松本圏域8市村受託事業)に参画します。計画相談に該当しない障がい児・者の相談等に対応するため、引き続き「松本圏域障がい者総合相談支援センターWish」に松本市内全エリアを担当する職員を派遣し、松本圏域における相談支援を実施しました。

(3) 相談援助スキルの向上

ア 各種研修への参加

「障がい者相談従事者現任研修」、「強度行動障がい支援者養成研修」、「相談支援従事者専門分野研修」及び「医療的ケア児等支援者養成研修」に参加し、相談支援援助スキルの向上を図りました。

イ 基幹相談支援センター事例検討会等への参加

松本圏域基幹相談支援センター主催のケアマネジメント連絡会は、コロナ感染症の影響により、一部開催見合せとなりましたが、オンラインで開催された1回の会議に出席し、圏域の情報を得るとともに、専門知識と支援技術を習得しました。

# 3 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

# (1) 指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業

ア 計画作成及びモニタリング

(単位:件)

区分 (延件数)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定特定相談支援事業	1,028	1,091	1,105
指定障害児相談支援事業	4 6	6 8	6 5
合計	1,074	1,159	1,170

イ 利用現員 (単位:人)

	令和2年度末	新規	計画終了	令和3年度末
区分 (実人数)	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	1	2	3	1+2-3
指定特定相談支援事業	3 5 5	7	2 3	3 3 9
指定障害児相談支援事業	2 1	0	1	2 0
合計	3 7 6	7	2 4	3 5 9

ウ 生活状況 (単位:人)

区分(実人数)	施設入所	在宅	合計
指定特定相談支援事業	1 5 4	185	3 3 9
指定障害児相談支援事業	0	2 0	2 0
合計	1 5 4	2 0 5	3 5 9

### 工 地域別利用者数 (実人数)

(7) 指定特定相談支援事業

(単位:人)

松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
2 3 1	4	3 0	2 8	4	2 9	4	9	3 3 9

(イ) 指定障害児相談支援事業

(単位:人)

松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
8	0	0	1 2	0	0	0	0	2 0

(2) 障害者相談支援事業相談実績件数(松本圏域8市村受託事業) (単位:件)

区分(延件数)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
松本圏域障がい者総合相談	14,636		
支援センターW i s h	14,030		
松本圏域障がい者総合相談		12,395	12,575
支援センターW i s h	1,772		
(松本市西部エリア担当分)			
松本圏域障がい者総合相談	4,168	2,193	2,701
支援センターボイス	4,100	2,193	2,701
松本圏域障がい者総合相談	5 2 5 2	4 5 1 9	9 6 1 7
支援センターあるぷ	5, 3 5 3	4,518	2,617

# 令和3年度 事務局地域サポートセンター事業報告

### 1 事業目標

- (1) 利用者の心に寄り添い、家庭的な雰囲気を大切にした支援
- (2) 安全に安心して生活できる住環境の整備
- (3) 地域住民としての役割と交流

### 2 取組結果

- (1) 利用者の心に寄り添い、家庭的な雰囲気を大切にした支援
  - ア 利用者一人ひとりの気持ちを尊重するとともに、要望や悩みを傾聴し、安心して穏やかな生活を送ることができるよう支援しました。また、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。)の感染予防対策のため、季節の行事や外出等が制限されるなか、各グループホームにおいてお楽しみ会やお誕生日会、散歩等を企画し、利用者のストレス解消に努めました。
  - イ 高齢化や医療的ケアへの対応が難しい利用者に対し、適宜、世話人会を開催し、 相談支援事業所、行政や医療機関等多職種と連携して情報を共有しながら支援す ることができました。
- (2) 安全に安心して生活できる住環境の整備
  - ア グループホーム「さつき」の耐震化改修工事が無事終了し、1月から新たな生活がスタートしました。また、この改修工事に併せて、地震による倒壊のおそれのある道路沿いのブロック塀を撤去するとともに老朽化が著しかった洗面所及び給湯設備を改修し、より快適な環境を整備しました。
  - イ コロナ感染症感染予防対策として、毎日の検温、手洗い、うがい等基本的な対 策を徹底し体調管理に努めました。
  - ウ 給湯設備の水漏れ修繕、冷蔵庫やエアコンの更新等設備の不具合に迅速に対応 し、利用者の生活に支障がないよう努めました。
- (3) 地域住民としての役割と交流

コロナ感染症の影響を受け、地区清掃や防災訓練など地域の方々との交流機会が減少しました。このような状況にあって、特に、グループホーム「いっきゅう」では、散歩時に近隣の方々とあいさつを交わし、会話を楽しむなどの交流ができました。さらに利用者が手作りした雑巾を近隣の方々にプレゼントし、喜んでいただきました。また、グループホーム「あさがお」では、夜間避難訓練に当たり、隣接する高齢者施設の協力を得る等地域の一員として交流の促進に努めました。

### 3 特記事項

グループホーム「さつき」の耐震化改修工事に伴い、旧グループホーム「あさがお」 の施設を一時的に使用する予定でしたが、工法の工夫により使用する必要がなくなっ たことから、賃貸借契約を令和3年9月末で解約し、施設を松本市に返還しました。

# 4 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

(1) 利用定員及び現員

(単位:人)

ロハ	定員		年度末現員				
区分	(a)	元年度	2年度	3年度(b)	(b)-(a)		
杉のこ	7	7	7	5	$\triangle 2$		
やまぶき	7	8	8	7	0		
いっきゅう	7	7	7	7	0		
さつき	7	7	7	7	0		
あさがお	7	7	7	6	$\triangle$ 1		
西林	7	7	7	7	0		

(2) 令和3年度異動状況

(単位:人)

区分	新規利用者数①	利用終了者数②	差引①-②
杉のこ	0	2	$\triangle 2$
いっきゅう	1	1	0
あさがお	0	1	$\triangle 1$

(3) 年齢別状況

(単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	1 0	5	1	1	4	2 1	47.2	43.8
女	3	7	2	2	4	1 8	55.4	54.7
計	1 3	1 2	3	3	8	3 9	51.3	49.2

(4) 障害支援区分認定状況

(単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	1	2	4	1 1	3	0	2 1	3.6	3.4
女	1	0	5	8	1	3	1 8	4.1	3.9
計	2	2	9	1 9	4	3	3 9	3.8	3.6

(注) 障害支援区分の判定がないものは、「区分1」に計上

## (5) 地域別利用者数

(単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	1 3	1	0	3	0	4	0	0	2 1
女	6	1	1	1	1	5	О	3	1 8
計	1 9	2	1	4	1	9	0	3	3 9

# (6) 障がい状況

# ア 身体障害者手帳所持状況

区分	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体5級	身体6級	計
男	0	0	1	0	0	0	1
女	0	0	0	1	0	0	1
計	0	0	1	1	0	0	2

# イ 療育手帳所持状況

/ ) \	<i>! L</i> L		1
( 🖯	$_{HMD}$	•	V )
( -	单位		人)

区分	A 1	A 2	В 1	В 2	計	
男	7	1	7	6	2 1	
女	7	0	1 1	0	1 8	
計	1 4	1	1 8	6	3 9	

# 5 生活及び活動の状況

行事等実施状況

月	行事等の内容
4月	19日 各グループホーム消防機器点検、21日 「いっきゅう」世
	話人会、23日 「西林」世話人会、27日 「あさがお」世話人会
5月	17日「やまぶき」世話人会
6月	1日 利用者健康診断、17日 「杉のこ」世話人会、30日 「さ
	つき」世話人会
7月	2日 「いっきゅう」世話人会、16日 山形村民生委員よる環境
	整備ボランティア(「杉のこ」、「さつき」)、各グループホーム外出(買
	い物、食事)
8月	25日 「いっきゅう」世話人会
9月	各グループホーム避難訓練(28日、30日)、28日 「あさがお」
	世話人会、30日 「杉のこ」世話人会
10月	各グループホーム避難訓練(1日、12日、21日、26日)、13
	日「杉のこ」世話人会、26日 「やまぶき」世話人会
12月	クリスマス会・忘年会(各グループホーム)、24日 「さつき」竣
	工検査・説明会
1月	新年会(各グループホーム)
2月	節分
3月	各グループホーム避難訓練(25日、26日、29日、30日)、
	26日 「あさがお」世話人会、お楽しみ会(各グループホーム)
通年	誕生日会、外出支援(各グループホーム)

# 6 健康管理状況

受診人数等

(単位:人・日)

区分・年度		実人数		延日数			
	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
受診状況	3 2	3 6	3 6	3 4 6	400	489	
入院状況	2	2	1	6 8	1 5 4	3 6	
合計	3 4	3 8	3 7	4 1 4	5 5 4	5 2 5	

# 令和3年度 梓荘事業報告

### 1 事業目標

- (1) 人権を尊重した支援
- (2) 職員育成と提供サービスの充実
- (3) 地域福祉の拠点としての機能強化と地域貢献

### 2 取組結果

- (1) 人権を尊重した支援
  - ア 利用者の目線にたった支援

個別支援計画更新時(6月及び12月)に、多職種からなる検討会議を実施し、利用者の思いやご家族の意向を計画に反映できるよう努めました。また、毎月1回「車座集会」を開催し、利用者との意見交換を行いました。利用者から出された苦情・要望を職員会議や引継ぎ等で全職員に周知するとともに、苦情等の解決に向け速やかに取り組みました。さらに、法人全体で取り組んでいる「利用者満足度調査」の結果を踏まえ、虐待防止研修等を通じ、利用者の思いを尊重した支援を心がけました。

### イ 虐待及び身体拘束の防止

「虐待防止伝達研修」を令和3年12月に実施しました。また、虐待防止のための自己チェックを実施し、職員が自己の支援を見つめ直す仕組みを作りました。また、施設の「虐待防止(身体拘束)委員会」を定期的に開催して、身体拘束をやむを得ず行っている事例について記録の徹底と解除に向けた検証を行い、虐待(身体拘束)を生まない意識の浸透を図りました。

## (2) 職員育成と提供サービスの充実

### ア 職員の育成・研修の充実

新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。)による制約のなかで、可能な範囲で外部研修に参加するとともに、できるだけ多くの職員にオンライン研修を受講する機会を作りました。また、DVD動画を活用した「セルフリモート研修」の導入に向けた試行のほか、松本市立病院看護師による「排泄ケア研修」、潤いあるレクリエーションのあり方を学ぶ「障害者のためのレクリエーション支援者養成研修」に参加しました。さらに、緊急時に適切な対応が取れるように、普及員の資格のある職員による研修を実施しました。

### イ 支援業務の見直し

「事故・ヒヤリハット」は、事故が7件、ヒヤリハットが67件発生しました。 それぞれを施設全体に周知するとともに、原因の分析や再発防止策を毎月「虐待防止(身体拘束)委員会」で検討し、支援内容の改善に努めました。また、毎月の職員支援行動目標を職員自らが作ることで、支援業務の見直しを考える機会としました。

#### ウ 日中活動の充実

毎月のレクリエーションとして、口腔体操、玉入れ、風船バレー等ゲームや体を動かす体操等を行いました。また、コロナ感染症感染拡大状況に留意しながら、お花見ドライブ等の外出支援も行いました。

### エ 健康管理の充実

あらゆる感染症を施設内に入れないために、法人の感染拡大予防指針に基づき 慎重に対応しました。また、嘱託医の松本市立病院と連携し、新型コロナワクチン接種を実施しました。

### オ 食事の提供

季節感のある献立、希望食、選択食、バイキング食等を提供するとともに、利用者の健康を考慮し身体状況に応じ安心できる食事の提供に努めました。

### (3) 地域福祉の拠点としての機能強化と地域貢献

ア 通所部は、コロナ感染症感染拡大予防による利用自粛による影響がありましたが、圏域内の感染状況を注視しつつ利用率向上に努めました。在宅支援を含め、 1日の平均利用者数が約11人という状況でした。

イ 短期入所は、入所利用者、通所利用者との完全分離の感染防止対策を講じ、4 月から延べ30人を受け入れました。コロナ感染症の警戒レベルが上昇した1月 から3月までは、男性1人を長期に受け入れました。

### ウ 防災安全対策

コロナ感染症感染予防のため、地域住民への協力要請は自粛しましたが、消防計画に則り梓川消防署指導のもと、防災及び避難訓練を実施し、職員の防火、防災意識の向上に努めました。

### エ 地域人材の育成

梓川中学校との交流では、コロナ感染症の影響により例年のようなクラス単位での交流はできませんでしたが、代わりにリモート通信や規模を制限した方法で交流を実施しました。特に、クリスマス交流では、梓川中学校の生徒が製作した木製ベンチ (「ソーシャルディスタンスベンチ」といいます。)8脚を寄贈していただきました。また、養成校の実習についても、コロナ感染症の影響により積極的な受入れはできませんでしたが、福祉人材の育成に資するため、保育実習として松本短期大学の学生3人を受け入れ、介護の現場を体験する機会を提供しました。さらに、地元のボランティアの皆さんに草取りや野沢菜漬けを行っていただき、改めて地域交流の大切さを確認することができました。

#### 3 特記事項

精神科協力医は、高山医院閉院に伴い、協力精神科医が松南病院に変更となりましたが、混乱なくスムーズに移行ができました。精神面の安定に向け信頼関係を築きつつ連携を深めています。

# 4 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

(1) 利用定員及び現員

(単位:人)

区分	定員		差引		
<b>上</b> 河	(a)	元年度	2年度	3年度(b)	(b)-(a)
生活介護事業(入所)		5 1	5 2	5 1	
生活介護事業 (通所)	5 5	2 6	3 3	3 3	2 9
(1日あたりの利用者数)		(8.31)	(9.25)	(11.0)	
施設入所支援事業	5 0	5 1	5 2	5 1	1

(2) 令和3年度異動状況

(単位:人)

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業(入所)	3	4	$\triangle$ 1
生活介護事業 (通所)	1	1	0
施設入所支援事業	3	4	$\triangle 1$

(3) 年齢別状況

ア入所

(単位:人)

区分	18~39 歳	40~59歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	2	1 2	5	3	3	2 5	54.0	56.0
女	2	8	4	4	8	2 6	61.0	61.0
計	4	2 0	9	7	1 1	5 1	57.6	5 8. 1

イ 通所

(単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢					
男	6	9	3	1	0	1 9	45.5	46.0					
女	9	5	0	0	0	1 4	34.5	32.0					
計	1 5	1 4	3	1	0	3 3	40.8	41.0					

(4) 障害支援区分認定状況

ア入所

(単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	1	7	1 7	2 5	5.6	5.6
女	0	0	1	1	5	1 9	2 6	5.6	5.5
計	0	0	1	2	1 2	3 6	5 1	5.6	5.5

イ 通所

(単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	3	1	7	8	1 9	5.1	4.9
女	0	0	1	1	4	8	1 4	5.4	5.5
計	0	0	4	2	1 1	1 6	3 3	5.2	5.2

(注) 障害支援区分の判定がないものは、「区分1」に計上

# (5) 地域別利用者数

ア 入所 (単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	1 2	0	4	6	О	2	1	0	2 5
女	1 5	2	2	3	1	2	О	1	2 6
計	2 7	2	6	9	1	4	1	1	5 1

イ 通所 (単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	1 5	0	0	4	0	0	0	0	1 9
女	5	О	О	8	О	1	О	О	1 4
計	2 0	О	О	1 2	О	1	0	0	3 3

# (6) 障がい状況

# ア 身体障害者手帳所持状況

(単位:人)

区分	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体5級	身体6級	計
男	1 8	7	0	0	0	0	2 5
女	1 3	8	2	0	0	0	2 3
計	3 1	1 5	2	0	0	0	4 8

# イ 療育手帳所持状況

(単位:人)

区分	A 1	A 2	В 1	В 2	計
男	1	2	1	0	4
女	6	1	0	0	7
計	7	3	1	0	1 1

# 5 生活及び活動の状況

# (1) 行事等実施状況

月		行事等の内容
5月	18日	避難訓練、23日 救急救命研修会、30日 春祭り昼食会
7月	8 目	衣類品出張販売、28日 夏祭り
8月	25日	夜間総合避難訓練
9月	9 日	防犯訓練
10月	13日	秋祭り
11月	21日	衣類品出張販売
12月	15日	忘年会、22日 クリスマス会
1月	13日	新年会・そば会
2月	1 日	節分、15日 寿司を賞味する会
3月	3 日	ひな祭り
通年	梓川□	中学校交流、北北条地区ボランティア、日赤奉仕団野沢菜漬け

# (2) クラブ及びレクリエーションの実施状況

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
音楽クラブ	_	_	
書道クラブ	_		個別支援で希望に応じて個々に実施
絵画クラブ	_	_	
映画鑑賞	5	7 2	DVD鑑賞
外出	外出 11 56		ドライブ・買い物・お花見
計	1 6	1 2 8	

# 6 健康管理状況

(1) 健康診断・検査

(単位:人)

実施機関	内容	実人数			延人数			
天旭饿民	四个	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
病院	内科	0	5 2	5 2	0	5 2	5 2	
71717元	歯科	7	6	0	7	6	0	
匠险	内科検診	5 2	0	0	5 2	0	0	
医院	精神科	1 7	2	0	1 7	2	0	
その他の医療機関	レントゲン	4 8	5 0	4 9	4 8	5 0	4 9	
	歯科検診	5 2	5 2	5 1	5 2	5 2	5 1	

(2) 受診人数等

(単位:人・日)

区八. 矢座	実人数			延日数			
区分・年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
受診状況	2 3	3 3	1 5	7 9	3 8	5 5	
入院状況	1 2	1 4	1 6	5 6 6	4 4 9	3 1 1	
施設内処置状況	4 6	5 2	5 5	9,018	12,163	14,372	
機能訓練実施状況	5 1	5 2	5 2	1,224	1, 2 4 8	1,248	
合計	1 3 2	1 5 1	1 3 8	10,887	13,898	15,986	

# 7 給食

(1) 年間給食数

(単位:食)

区分	元年度	2年度	3年度
利用者	55,942	56,157	57,508
職員等	3,363	3,545	2,906
計	59,305	59,702	60,414

# (2) 一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	1,450kcal	1,440kcal
タンパク質	5 0 g	66.4g
脂質	4 2 g	45.0g

# (3) 食事内容及び間食状況

(単位:人)

(=) = = = -	1 H 00 1 1 1 2 1 1 1 1 1				(1 = - ) ()
豆八	TZAE		実人数	間食	
区分	形態	元年度	2年度	3年度	间及
	常食	1 8	2 3	18	
<b>主</b> A	軟飯	4	4	4	
主食	粥食	2 4	2 2	2 1	
	ミキサー食・ゼリー食	5	3	8	\W 4 F
	常食	1 3	1 3	1 4	週1回 水曜日
司各	粗刻み	6	1 0	8	/八唯 口
副食	細刻み・刻み	2 0	18	1 5	
	ミキサー食	1 2	1 1	1 4	
経管栄養		0	0	0	

# 8 短期入所事業等実施状況 (単位:人)

	定員		実人数		延利用日数				
区分・年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
短期入所事業	2	2	2	2 0	1 6	1 1	4 3 7	2 1 6	284
日中一時支援事業				4	2	1	9 4	9 3	5 6

## 令和3年度 ささらの里事業報告

### 1 事業目標

- (1) 利用者サービスの向上
- (2) 安全・安心な環境の提供
- (3) 地域とのつながり
- (4) 働きやすい環境づくり

### 2 取組結果

- (1) 利用者サービスの向上
  - ア 各職員が受け持つ利用者の意向を聞き取り、個別支援計画に沿った対応をしま した。支援内容や達成度については、毎月のケース記録に反映しました。
  - イ 日課や業務については、毎月の調整会議や企画運営会議で課題検討を行い、業 務マニュアルを見直しました。
- (2) 安全・安心な環境の提供
  - ア 利用者の買い物の利便性を高めるため、インターネットによる注文ができるようにしました。また、施設内の無線通信 (Wi-Fi)利用可能エリアを拡大し、利用者のインターネット環境を整備しました。
  - イ 迅速なナースコール対応ができるよう、受信端末を補充、整備しました。
  - ウ コロナ感染症対応として、実際、利用者が感染した場合を想定し、施設内ゾーニングとガウンテクニック訓練を日常的に行い、即実践のできる環境を整えました。さらに、利用者の1日2回の検温を追加し、早期に体調変化に気づく体制を整えました。また、嘱託医の協力を得て、利用者、職員を対象とした新型コロナワクチンの接種を完了しました。さらに、外部講師による感染症予防研修を年2回行い、職員の感染予防意識の向上に努めました。
  - エ 床走行リフト、移乗介護ロボット「ハグ」、スライドボード、スライディング シート等を活用した介護を実践し、利用者及び職員の負担軽減、業務の効率化及 び職員の腰痛予防に努めました。
  - オ 危機管理委員会が毎月1回の調整会議及び企画運営会議において「事故・ヒヤリハット」を検証し、再発防止に努めました。また、「苦情・要望」については、「第三者委員・保護者コーディネーター報告会」を7月、11月及び3月に開催し、改善に努めました。
  - カ 防災訓練は、8月及び11月の2回実施しました。自衛消防協力員の皆さんには、訓練日とは別の機会を設け、協力を要請しました。また、防犯訓練は、9月に実施しました。
- (3) 地域とのつながり
  - ア 新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。) 感染予防への対応を行いながら、虐待案件や対応困難な利用者に対して短期入所を受け入れ

ました。

- イ 行事等は、コロナ感染症感染拡大の影響を受け、利用者家族や地域の方々に参加いただけない状況が続きましたが、コロナ感染症の警戒レベルが低下したタイミングを捉え、利用者との直接の接触を避けるなどの工夫をしながら保護者会作業、焼き芋会、ボランティアによる布団交換等を実施しました。
- ウ 広報誌「ささらの里だより」は、号外を含めて年間5回発行しました。また、 季節ごとにホームページを更新し、情報発信に努めました。

### (4) 働きやすい環境づくり

ア コロナ感染症感染予防対策を行いながら、職員会議等を開催し、職員間のコミュニケーションを図りました。

イ 支援方法や個別対応マニュアルの見直しを行い、新入職員が働きやすい環境づくりに努めました。

### 3 特記事項

松本市の「令和3年度障がい分野における介護ロボット等支援事業補助金」を受け、 移乗介護ロボット「ハグ」1台を整備しました。計2台の介護ロボットを活用し、利 用者のより良い介護方法を研究するとともに、職員の身体負担の軽減に努めました。

## 4 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

(1) 利用定員及び現員

(単位:人)

区分	定員	年度末現員			差引
<b>运</b> 为	(a)	元年度	2年度	3年度(b)	(b)-(a)
生活介護事業	5 9	6 4	6 5	6 3	4
施設入所支援事業	5 0	5 1	5 1	4 9	$\triangle$ 1

(2) 令和3年度異動状況

(単位:人)

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	2	4	$\triangle 2$
施設入所支援事業	2	4	$\triangle 2$

# (3) 年齢別状況

ア 入所

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	1	1 4	2	3	5	2 5	59.4	58.8
女	6	5	6	3	4	2 4	53.2	53.2
計	7	1 9	8	6	9	4 9	56.4	56.0

イ 通所 (単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	5	1	0	2	0	8	40.1	40.1
女	0	3	2	1	0	6	40.6	38.5
計	5	4	2	3	0	1 4	40.3	39.3

# (4) 障害支援区分認定状況

ア入所

(単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	1	2	2 2	2 5	5.8	5.8
女	0	0	0	0	7	1 7	2 4	5.7	5.7
計	0	0	0	1	9	3 9	4 9	5.7	5.8

イ 通所 (単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分3	区分 4	区分 5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	0	0	8	8	6.0	6.0
女	0	0	0	0	1	5	6	5.8	5.8
計	0	0	0	0	1	1 3	1 4	5.9	5.9

(注) 障害支援区分の判定がないものは、「区分1」に計上

# (5) 地域別利用者数

ア入所

(単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	1 4	0	5	1	1	4	0	0	2 5
女	1 5	1	4	О	1	1	1	1	2 4
計	2 9	1	9	1	2	5	1	1	4 9

イ 通所 (単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	3	О	1	О	О	0	О	4	8
女	1	О	2	О	О	2	О	1	6
計	4	О	3	О	О	2	О	5	1 4

# (6) 障がい状況

# ア 身体障害者手帳所持状況

区分	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体 5 級	身体6級	計
男	2 1	3	0	1	0	0	2 5
女	1 8	5	0	0	0	0	2 3
計	3 9	8	0	1	0	0	4 8

# イ 療育手帳所持状況

イ 療育	<b>手帳所持</b> 壮	(	(単位:人)		
区分	A 1	A 2	В 1	В 2	計
男	4	1	1	1	7
女	1 0	2	0	0	1 2
計	1 4	3	1	1	1 9

(単位:人)

# ウ 精神障害者保健福祉手帳所持状況

区分	1級	2級	3級	計
男	0	0	0	0
女	2	0	0	2
計	2	0	0	2

# 5 生活及び活動の状況

# (1) 行事等実施状況

月	行事等の内容
4月	3日 保護者会役員会、20日 参議院補欠選挙期日前投票、25
4月	日 春のお食事会(保護者総会は書面評決)
5月	5日 おやつ会(アイスクリーム)、25日 選択食
6月	20日 保護者作業(草刈り・木の伐採)
7月	12日 夜間避難訓練、17日・31日 新型コロナワクチン接種(1
7 月	回目)、19日 第三者委員報告会
8月	1日 夏祭り、7日・21日 新型コロナワクチン接種(2回目)、
ОЛ	8日 自衛消防協力員との打合せ、13~15日 衣料品販売会
9月	7日 燻煙
10月	13日 排泄ケア研修、16日 郵便局ボランティア (布団交換)
107	19日 保護者会作業(草刈り)、31日 秋祭り・花火大会
	2日 レントゲン、9日 地震を想定した避難訓練、11日 焼き
11月	芋会、17日 新そば会、24日 防犯訓練、27日感染症研修、29
	日 第三者委員報告会
12月	6日 新そば会、8日 クリスマス会、19日 職員全体研修(リ
127	スクマネジメント・権利擁護)
1月	7日~ワックスがけ、14日~17日 衣料品販売会、24日 だ
17	るま目入れ式・新年食事会
2月	1日 新そば会、3日 節分行事
	1日 カレーの日、5日 ひな祭り行事食、14日 第三者委員報
3月	告会(書面報告)、26日 保護者会役員会、12日・26日 新型コ
	ロナワクチン接種(3回目)

# (2) クラブ及びレクリエーションの実施状況

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
エンパワメント クラブ	10回	87人	オリンピック・パラリンピックの 競技調べと発表、秋祭り展示物の作 成、動物かるた、百人一首
園芸クラブ	4回	70人	苗植え、手入れ等の園芸作業、トウ モロコシの試食
おひさまクラブ	四8	51人	オイルマッサージ、読み聞かせ、ホ ットタオル、整容、足浴、散歩等
音楽クラブ	8回	193人	音楽を聴きながらの読み聞かせ、 楽器演奏、利用者の演奏に合わせて 歌う等
芸術クラブ	8回	107人	創作活動、(兜、紫陽花、お月見、 ちぎり絵、クリスマス、はり絵、フィ ンガーアート)、カラオケ
散歩・日光浴	7 回	84人	小池公園、施設外周、中庭等
DVD鑑賞	6 回	110人	トムとジェリー、アンパンマン、マ ルモのおきて、ファンタスティック ビースト等
季節のレクリエ ーション	8回	166人	鯉のぼり、短冊、アイスクリーム、 オリンピック鑑賞、お月見ウサギの 制作、クリスマス、福笑い、ひな祭り
その他のレクリ エーション	5 回	104人	輪投げ、動画で体操、黒ひげ危機一 髪、展示物作成、読み聞かせ等
計	6 4 回	972人	

# 6 健康管理状況

(1) 健康診断・検査

実施機関	内容		実人数			延人数		
<b>夫</b>	内谷	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
村井病院	精神科検診	1 3	1 3	1 3	1 4 3	1 3 2	1 5 0	
藤森医院	内科検診	5 2	5 1	5 1	102	102	102	
その他の医療機関	歯科検診	5 2	5 1	5 1	5 2	5 1	5 1	

# (2) 受診人数等

(単位:人・日)

区分・年度		実人数		延日数			
区分・千度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
受診状況	5 2	5 1	5 1	2,699	2,321	2,011	
入院状況	2 2	1 5	1 3	9 1 1	499	6 5 4	
施設内処置状況	5 2	5 1	5 1	2,160	5,064	8,966	
機能訓練実施状況	5 2	5 1	5 1	2,160	1,537	1,291	
合計	178	1 6 8	166	7,930	9,241	12,922	

## 7 給食

(1) 年間給食数

(単位:食)

区分	元年度	2年度	3年度
利用者	51,966	54,043	54,554
職員等	2,445	2,171	1,912
計	54,441	56,214	56,466

# (2) 一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績		
エネルギー	1,600kcal	1,621kcal		
タンパク質	6 5 g	63.7g		
脂質	4 5 g	47.5 g		

# (3) 食事内容及び間食状況

ロハ	形態		実人数		目会
区分	<b>形</b> 態	元年度	2年度	3年度	間食
	常食	2 7	2 3	2 6	
÷ &	軟飯	0	0	0	
主食	粥食	1 3	1 6	1 6	
	ミキサー食・ゼリー食	5	5	2	週1回
	常食	1 0	1 1	1 7	日曜日
ri A	粗刻み	1 1	9	4	5
副食	細刻み・刻み	1 9	1 9	2 1	
	ミキサー食	5	5	2	
	経管栄養	6	6	6	

# 8 短期入所事業等実施状況 (単位:人)

区分・年度	定員			実人数		延利用日数			
	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
短期入所事業	4	4	4	2 9	1 9	2 4	6 6 2	5 2 3	5 2 1
日中一時支援事業				4	2	3	1 5	1 5	1 6

## 令和3年度 こきりこささら事業報告

### 1 事業目標

- (1) 感染症防止対策による安全で質の高いサービスの提供
- (2) チームによる支援力の向上
- (3) 透明性の高い施設運営
- (4) 平均利用者数の目標達成

# 2 取組結果

(1) 感染症防止対策による安全で質の高いサービスの提供

### ア 外出支援

新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。)の感染状況に留意しながら、利用者の希望に沿った外出支援を行いました。主な外出先は、市内ショッピングセンター、季節を感じることができるドライブ等でした。

#### イ 機能維持訓練

感染症感染予防対応のためのゾーニングを実施し、密接密集の回避に加え、利用者の状況に合わせた訓練を実施しました。

ウ 事故・ヒヤリハット対策

毎月、職員会議において検証し、再発防止と安全で、安心なサービス提供に努めました。

### 工 相談援助

各種関係機関と連携し、利用者一人ひとりの家庭状況を把握し、毎日の引継ぎ 時や職員会議で情報を共有しました。

オ 地域活動支援センター事業

利用者の日中の居場所を提供するため、利用者の希望に応じた創作活動やレクリエーション活動等を実施しました。

(2) チームによる支援力の向上

利用者の日々の容体観察に加え、積極的に支援会議(オンラインによる会議を含みます。)に参加し、他事業所での利用者の様子などを把握したうえで、利用者を 取り巻く情報を速やかに職員間で共有しました。

(3) 透明性の高い施設運営

利用者の日中の様子を伝えるため、電話や連絡ノートを活用するとともに、送迎 時のタイムングを捉え、家族と積極的にコミュニケーションを図りました。また、 「第三者委員・保護者コーディネーター報告会」を「ささらの里」と合同で年3回 開催し、「事故・ヒヤリハット」及び苦情・要望の報告を行いました。

(4) 平均利用者数の目標達成

新規利用者として、新たに6人の方が利用を開始しましたが、コロナ感染症感染 予防対策による利用日数の減、介護保険サービスへの移行、長年通所していた利用 者の逝去等により、1日平均利用者数は17.10人で前年度に比べ0.73人の減となりました。

## 3 特記事項

年間を通じて、食事を伴う外出支援の実施が困難となったため、テイクアウトメニューや調理実習の機会を設け、食べるだけでなく、楽しく参加できる時間を増やしました。特に、調理実習では、トッピングを工夫したゼリー、かき氷、スイートポテト、きんつば等を作り、利用者に大変好評でした。また、創作活動にも力を入れ、利用者の日中活動の充実を図りました。

### 4 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

### (1) 利用定員及び現員

(単位:人)

区分	定員		年度末現	員	差引
<u></u>	(a)	元年度	2年度	3年度(b)	(b)-(a)
生活介護事業	2 0	6 8	6 7	6 4	4 4
地域活動支援センター事業	1 0	7	7	3	$\triangle 7$

# (2) 令和3年度異動状況

(単位:人)

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	6	9	$\triangle$ 3
地域活動支援センター事業	2	6	$\triangle 4$

### (3) 年齢別状況

(単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	1 3	1 2	4	7	6	4 2	50.7	5 2.0
女	9	4	5	3	3	2 5	51.4	46.8
計	2 2	1 6	9	1 0	9	6 7	4 9.6	50.1

## (4) 障害支援区分認定状況

(単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	2	9	1 1	7	1 3	4 2	4.4	4.3
女	0	3	2	5	7	8	2 5	4.6	4.3
計	0	5	1 1	1 6	1 4	2 1	6 7	4.5	4.3

(注)障害支援区分の判定がないものは、「区分1」に計上

# (5) 地域別利用者数 (単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	3 4	0	5	1	0	0	0	2	4 2
女	2 1	0	1	О	0	2	0	1	2 5
計	5 5	О	6	1	О	2	О	3	6 7

# (6) 障がい状況

## ア 身体障害者手帳所持状況

区分 身体1級 身体2級 身体4級 身体5級 身体6級 計 身体3級 26 5 5 0 0 0 3 6 女 7 2 2 4 13 1 0 1 18 計 3 3 1 0 1 6 0

# イ 療育手帳所持状況

1001	<i></i>		1 1
(単	111	•	人)
( +-	11/-		/\/

(単位:人)

区分	A 1	A 2	В 1	B 2	計
男	1 1	1	2	1	1 5
女	8	3	1	1	1 3
計	1 9	4	3	2	2 8

# ウ 精神障害者保健福祉手帳所持状況

(単	壮	Y

区分	1級 2級 3級		3級	計
男	0	1	0	1
女	1	1	0	2
計	1	2	0	3

# 5 生活及び活動の状況

# (1) 行事等実施状況

月	行事等の内容
4月	お花見ドライブ、創作活動、お誕生祝い
5月	創作活動 (オーナメント作り)
6月	創作活動(七夕会)
7月	創作活動 (うちわ作り)、オープンテラス
8月	創作活動 (展示物)
9月	創作活動 (展示物)
10月	創作活動(虹の壁画・ハロウィン)
11月	行事食(青葉弁当)
12月	創作活動 (クリスマス飾り)、蕎麦会
1月	創作活動(干支作り)、蕎麦会
2月	創作活動 (雛飾り、扇子飾り、) 行事食 (弁当)、蕎麦会
3月	創作活動(フォトフレーム作り)

# (2) クラブ及びレクリエーションの実施状況

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
創作活動	12回	300人	オーナメント、七夕飾り、うちわ作 り、虹の壁画、ハロウィン、クリスマ

			ス飾り、干支作り、雛飾り、扇子飾
			り、フォトフレーム作り
調理実習	7 回	60人	アイス乗せトッピングゼリー、きん
<b>则</b>	T III	007	つば、スィートポテト、かき氷
映画鑑賞	12回	250人 1	ドラマ、アニメ、ライブ映像、お笑
吹凹塩貝	1 4 円		い、ドキュメント等
	36回	0.001	ボーリング、ナンバーストライク、
ゲーム			釣りゲーム、坊主めくり、カードゲー
7-4		360人	ム、ボッチャ、オリンピックピクトグ
			ラムゲーム、輪投げ、風船割り
計	127回	970人	

# 6 給食

(1) 年間給食数

(単位:食)

区分	元年度	2年度	3年度
利用者	4,911	4,797	4,809
職員等	7 5 2	7 6 6	6 1 7
計	5,663	5,563	5,426

# (2) 一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	6 4 0 kcal	6 3 8 kcal
タンパク質	2 6 g	23.9 g
脂質	18 g	21.6 g

# (3) 食事内容及び間食状況

区分	形態		実人数	間食	
四万	// // // // // // // // // // // // //	元年度	2年度	3年度	
	常食	6 1	6 2	5 5	
<b>主</b> 🌣	軟飯	0	0	0	
主食	粥食	8	5	5	
	ミキサー食・ゼリー食	1	2	3	
	常食	6 1	5 8	5 4	_
司会	粗刻み	2	2	5	
副食	細刻み・刻み	7	7	2	
	ミキサー食	1	2	2	
	経管栄養	5	5	3	

# 7 日中一時支援事業等状況 (単位:人)

区分・年度	定員		実人数		延利用日数				
区分・午及	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
地域活動支援 センター事業				7	6	5	206	2 3 8	2 6 5

## 令和3年度 みすぎの森事業報告

### 1 事業目標

- (1) 利用者の希望に合わせた生活支援
- (2) 感染症予防対策と地域交流及び社会体験の推進
- (3) 支援体制の連携と強化

### 2 取組結果

- (1) 利用者の希望に合わせた生活支援
  - ア 令和2年度末から医療的ケアが必要な3人の利用者に訪問看護を導入し、体調管理に留意しました。必要に応じて訪問回数を増やし、体調維持に努めた結果、令和3年度は体調不良による入院はありませんでした。
  - イ 新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。)の感染状況 を考慮しながら、直接通院(職員が医師に状況報告を行うもの)及び訪問リハ ビリを受け入れました。また、日頃の機能維持訓練は、理学療法士から助言を 受け機能維持に努めました。
  - ウ コロナ感染症の感染拡大が落ち着いている時期(令和3年の年末まで)には、 外部事業所を利用し、利用者各々の希望に沿った外出を行いました。
- (2) 感染症予防対策と地域交流及び社会体験の推進
  - ア 家庭的な雰囲気を常に意識し、感染予防対策を講じながら夜桜ドライブ、花 火大会、バーベキュー、クリスマス会、恵方巻き作り等を実施しました。
  - イ コロナ感染症の影響を受け、寿小学校の児童との直接交流事業の実施が難しいなか、令和3年度は作品交換を行うなど、交流を再開することができました。
  - ウ 地域におけるセーフティネットの役割として、家庭で対応ができない期間について、感染予防対策を講じながら短期入所を受け入れました。また、養護学校生の進路決定に向けた宿泊体験を2人受け入れました。
  - エ 地域貢献事業の宿泊体験として、生活場面の変更を苦手とする方(宿泊できない方)の将来の受入れが可能となるよう支援し、利用時間を徐々に伸ばす取組みを行いました。
- (3) 支援体制の連携と強化

「みすぎの森」及び「第2みすぎの森」の職員は、相互に情報共有、医療的ケア研修、体験等を通し、両グループホームの支援ができるよう取り組みました。

### 3 特記事項

令和4年2月に体調変化があり、頻回な喀痰吸引と医療的管理が常時必要になった利用者は、グループホームの生活を続けることが困難となったため、嘱託医の藤森病院と連携のもと本人とその家族に状況を説明し、望ましいサービス(障害福祉サービスに限らず介護保険サービスも視野に入れた医療的支援が受けられる生活)

に向けた意思決定支援を進めました。

# 4 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

(1) 利用定員及び現員

(単位:人)

マハ	定員	年度末現員			差引
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(a)	元年度	2年度	3年度(b)	(b)-(a)
共同生活援助事業	1 4	1 4	1 4	1 4	0

(2) 令和3年度異動状況

(単位:人)

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引	
共同生活援助事業	0	0	0	

(3) 年齢別状況

(単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	5	1	0	2	0	8	40.1	39.1
女	3	2	0	1	0	6	40.6	3 9.6
計	8	3	0	3	0	1 4	40.3	3 9.3

(4) 障害支援区分認定状況

(単位:人)

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分 5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	0	0	8	8	6.0	5.8
女	0	0	0	0	1	5	6	5.8	5.8
計	0	0	0	0	1	1 3	1 4	5.9	5.8

(注) 障害支援区分の判定がないものは、「区分1」に計上

(5) 地域別利用者数

(単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	3	0	1	0	0	0	0	4	8
女	1	0	2	0	0	2	0	1	6
計	4	0	3	0	0	2	0	5	1 4

(6) 障がい状況

ア 身体障害者手帳所持状況

(単位:人)

区分	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体5級	身体6級	計
男	8	0	0	0	0	0	8
女	3	3	0	0	0	0	6
計	1 1	2	0	0	0	0	1 4

イ 療育手帳所持状況

区分	A 1	A 1 A 2		B 2	計	
男	5	0	0	0	5	
女	2	2	0	0	4	
計	7	2	0	0	9	

## 5 生活及び活動の状況

行事等実施状況

	- "
月	行事等の内容
4月	7日~13日 お花見散歩、夜桜ドライブ、25日 春のお食事会
5月	10日 パンバイキング
6月	10日~20日 ドライブ外出
7月	27日 バーベキュー会、夜間総合避難訓練
8月	1日 納涼会
9月	30日 パンの日
10月	31日 秋祭り
11月	17日 そばを賞味する会
12月	8日 クリスマス忘年会
1月	24日 新年会
2月	10日 節分・恵方巻
3月	5日 ひな祭り

# 6 健康管理状況

(1) 健康診断・検査

(単位:人)

実施機関	内容		実人数		延人数			
<b>天</b>	[ [ [ ] ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
藤森病院	内科検診	1 4	1 4	1 4	1 4	1 4	1 4	
	胸部レントゲン	1 4	1 4	1 4	1 4	1 4	1 4	
松本歯科大学	歯科検診	1 4	1 4	1 4	1 4	1 4	1 4	

## (2) 受診人数等

(単位:人・日)

区分・年度		実人数		延日数			
区 万 千 尺	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
受診状況	1 4	1 4	1 4	279	3 3 5	3 2 5	
入院状況	3	4	5	109	1 4 6	9 5	
施設内処置状況	1 3	0	1 4	1,585	1,365	1,572	
機能訓練実施状況	1 3	0	1 4	2,201	2,529	2,688	
合計	4 3	18	4 7	4,174	4,375	4,680	

# 7 短期入所事業等実施状況 (単位:人)

区分•年度	定員			実人数			延利用日数		
区分・年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
短期入所事業	2	2	2	1 6	1 6	1 5	206	2 4 9	2 3 8
体験宿泊事業				3	1	2	1	2	1 1

(注) 体験宿泊事業は、宿泊を伴わない日中のみの体験者が対象

# 令和3年度 共立学舎事業報告

### 1 事業目標

- (1) 利用者本位の安心・安全なサービスの提供
- (2) 地域との交流及び地域に対する情報の発信
- (3) 利用者に配慮した施設環境の整備及び防災対策の実施
- (4) 職員が働きやすく、明るい職場環境づくり

### 2 取組結果

- (1) 利用者本位の安心・安全なサービスの提供
  - ア 安心・安全なサービスを行ううえで特に重要なものは、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。)への対応でした。法人が定めた基準のうち最も慎重な対応を要するレベル(対応3以上)においては、通所利用者と入所利用者の日中活動を分けて行うこととなっております。当施設においては、①在宅からの通所者、②グループホームからの通所者及び③入所者の3つのグループに分けて日中活動を行いました。また、当基準に従い、在宅からの通所者のうち通所の自粛が可能なご家庭には自粛についてご協力をいただきました。これらの対応の結果、幸いに施設内にクラスターの発生もなく、利用者への感染もありませんでした。ただし、この分離対応等の感染拡大予防対策により、利用者にとっては、面会、外出及び帰省ができない期間が約7カ月間続きました。また、職員体制においては、この分離対応により、充実した利用者支援が困難になる場面もありましたが、利用者の日常生活を何とか楽しく落ち着いて過ごせるように精一杯の支援を心がけました。
  - イ コロナ感染症対策で室内にこもりがちな利用者の運動不足解消のため、ドライブや散歩、畑作業を日中活動に取り入れ、外出の機会を増やしました。また、衣料品やラーメン等の出張販売を実施し、利用者のストレス解消に努めました。
  - ウ コロナ感染症の感染レベルが低下した令和3年10月から12月には、寸暇を 惜しんで、外食支援や買物支援のほか、班ごとの日帰り温泉旅行を実施しました。 また、10月には共立祭、12月にはクリスマス会を行い、利用者全員で楽しみ ました。
  - エ 利用者の高齢化と重度化に伴い、介護レベルが上がった利用者1人が身体障がい者対応の設備が充実している「梓荘」に移動しました。一方、グループホームの入居者で精神面のケアが難しくなった女性1人、また、保護者の入院等でご家庭での対応ができない男性1人の計2人が入所となりました。
  - オ 職員研修として、外部講師による精神科セミナー「スキルアップ研修」を全3 回実施、また、施設独自の研修として、「尿路感染症予防研修」、「虐待防止研修」、「救命救急研修」等を行いました。

### (2) 地域との交流と地域に対する情報の発信

コロナ感染症対策中のため、地域の講師を迎えての地域交流はできませんでしたが、感染防止対策を徹底しながら「松本短期大学」の学生との交流会を3回実施しました。花壇への花植え、サツマイモ掘り、焼き芋会を行い、その都度学生と利用者との懇談会を行いました。また、今井地区福祉ひろば事業への参加や養護学校文化祭への作品展示、ザワメキアート展への作品出展等できる範囲での地域交流を進めました。

### (3) 利用者に配慮した施設環境の整備及び防災対策の実施

ア 2人部屋を仕切る居室個室化事業は、令和元年度に4室を個室化しました。その後、利用者の意向等の検証を踏まえ、令和3年度の3室については、今回、入口を車いすが通れる幅を確保する方法に変えました。残り6部屋についても計画的に個室化を進めます。

- イ 常に危機管理意識を持って災害等に対応できるようにするため、必要な設備等を整備するとともに、防災訓練(昼間、夜間及び洪水予報時の避難訓練及び消火訓練)を実施しました。
- (4) 職員が働きやすく、明るい職場環境づくり

ア 室内のレイアウトを変更し、職員間のコミュニケーションをとりやすくし、気 軽に相談できる環境をつくりました。

イ 昼休みの当番制の励行、早番・遅番出勤体制による柔軟な職員配置を引き続き 行うことにより、有給休暇を取りやすい勤務体制を作るとともに、メリハリのあ る勤務ができるよう努めました。

### 3 特記事項

コロナ感染症対策のため、保護者会総会は書面決議としました。

# 4 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

(1) 利用定員及び現員

(単位:人)

区分	定員		差引		
<u></u>	(a)	元年度	2年度	3年度(b)	(b)-(a)
生活介護事業	5 5	5 9	5 7	5 7	2
施設入所支援事業	3 0	3 0	2 9	3 0	0

(2) 令和3年度異動状況

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	2	2	0
施設入所支援事業	2	1	1

# (3) 年齢別状況

ア 入所 (単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	3	7	2	3	2	1 7	54.8	54.3
女	0	7	1	2	3	1 3	59.2	59.4
計	3	1 4	3	5	5	3 0	56.6	56.8

イ 通所 (単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	5	1 1	0	1	2	1 9	47.6	46.4
女	3	5	0	2	1	1 1	49.6	48.8
計	8	1 6	0	3	3	3 0	48.3	47.6

# ⑷ 障害支援区分認定状况

ア 入所 (単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	2	8	7	1 7	5.3	5.3
女	0	0	1	3	8	1	1 3	4.7	4.7
計	0	0	1	5	1 6	8	3 0	5.0	5.0

イ 通所 (単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	1 1	6	2	1 9	4.5	4.5
女	0	0	1	5	5	0	1 1	4.4	4.2
計	0	0	1	1 6	1 1	2	3 0	4.5	4.4

(注) 障害支援区分の判定がないものは、「区分1」に計上

# (5) 地域別利用者数

ア 入所 (単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	1 1	О	1	О	1	3	1	0	1 7
女	7	О	О	5	О	О	О	1	1 3
計	1 8	О	1	5	1	3	1	1	3 0

イ 通所 (単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	1 4	О	3	О	О	2	О	О	1 9
女	6	0	2	О	1	2	О	О	1 1
計	2 0	0	5	О	1	4	О	0	3 0

# (6) 障がい状況

# ア 身体障害者手帳所持状況

(単位:人)

区分	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体5級	身体6級	計
男	0	0	0	1	0	0	1
女	0	1	1	0	0	0	2
計	0	1	1	1	0	0	3

# イ 療育手帳所持状況

(単位:人)

区分	A 1	A 2	В 1	В 2	計
男	2 2	0	1 3	1	3 6
女	7	2	1 2	0	2 1
計	2 9	2	2 5	1	5 7

# ウ 精神障害者保健福祉手帳所持状況

(単位:人)

区分	1級	2級	3級	計
男	1	0	0	1
女	0	0	0	0
計	1	0	0	1

# 5 生活及び活動の状況

行事等実施状況

月	行事等の内容
4月	14日 お花見会、16日 環境整備
5月	7日 環境整備、12日 防災訓練
6月	3・4日 健康診断、7日 環境整備、16日 消火避難訓練
7月	1日 松本短期大学交流会、7日 七夕会、28日 環境整備、第
	1回新型コロナワクチン接種(6・8・13・14・15・16日)、
	第2回新型コロナワクチン接種(27・28日)
8月	第2回新型コロナワクチン接種(3・4・5・6日)、19日 水防
	訓練、23日 納涼祭、27日 環境整備
9月	7日 内科検診、14日 大災害訓練 、16日 軽運動会
10月	22日 共立祭、26日 夜間避難訓練
11月	24日 インフルエンザ予防接種
12月	2日 松本短期大学交流会、22日 クリスマス会
1月	14日 三九郎
2月	1日 節分
3月	1日 ひなまつり、第3回新型コロナワクチン接種(2・4日)、
	19日 お楽しみ会

# 6 健康管理状況

(1) 健康診断·検査

(単位:人)

実施機関	内容		実人数		延人数			
天 地 (茂)	P 1 <del>                                    </del>	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
城西病院	精神科検診	3 0	3 0	2 9	3 0 1	3 7 2	2 6 4	
品川内科医院	内科検診	6 0	6 0	5 3	6 0	6 0	5 3	
その他の医療機関	歯科検診	9 7	_	_	9 7	_	_	

(注)歯科検診は、令和2年度から利用者個別の訪問検診に変更したため、人数は記載しません。

(2) 受診人数等

(単位:人・日)

区分・年度		実人数		延日数			
	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
受診状況	3 7	3 2	2 2	6 2 8	2 9 3	2 1 2	
入院状況	4	3	2	7 7	9 1	1 4	
施設内処置状況	4 3	4 0	3 6	3,404	3,360	3,094	
合計	8 4	7 5	6 0	4,109	3,744	3,320	

# 7 給食

(1) 年間給食数

(単位:食)

区分	元年度	2年度	3年度
利用者	37,524	37,116	37,696
職員等	2,510	2,648	2,881
計	40,034	39,764	40,577

### (2) 一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績		
エネルギー	2,000kcal	2,080kcal		
タンパク質	7 0∼8 0 g	79.6g		
脂質	$4.5 \sim 5.0 \text{ g}$	54.5g		

# (3) 食事内容及び間食状況

(単位:人)

マハ	形態		実人数		目会
区分	形態	元年度	2年度	3年度	間食
	常食	5 0	5 2	5 2	
主食	軟飯	0	0	0	
	粥食	8	4	4	
	ミキサー食・ゼリー食	1	3	1	
	常食	4 8	3 6	4 0	週7回
ri A	粗刻み	8	1 7	1 5	
副食	細刻み・刻み	2	3	1	
	ミキサー食	1	3	1	
	経管栄養	0	0	0	

# 8 短期入所事業等実施状況 (単位:人)

区分・年度	定員				実人数			延利用日数		
四方・千段	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
短期入所事業	2	2	2	1 0	7	9	4 9 8	463	6 3 9	
日中一時支援事業				1 2	8	1 0	7 1 9	2 5 9	932	

# 令和3年度 チャレンジ松本事業報告

#### 1 事業目標

- (1) 就業準備トレーニングと職場定着のための支援の充実
- (2) 利用者の工賃向上と自立に向けた意思決定支援の推進
- (3) 安全管理対策と職員の資質向上

#### 2 取組結果

- (1) 職業準備トレーニングと職場定着のための支援の充実
  - ア 就労移行支援事業所を移転統合し、継続利用者6人と新規利用者1人を合わせ 7人の利用者に職業準備訓練を実施しました。このうち、就職した利用者は4人 となり、当初の目標を達成しました。その他進学した利用者が1人いました。
  - イ 職場実習は、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。) への感染予防を優先し、延べ7回(4人)にとどまり、新たな利用者の確保には つながりませんでした。
  - ウ 職場適応援助者(ジョブコーチ)による支援を利用者3人に実施し、企業側の 求めに応じた職場定着支援を行いました。
  - エ 「長野県障がい者技能競技大会」が、7月に長野市で開催され、利用者3人が 参加しました。このうち、ビルクリーニング部門で1人が金賞を受賞しました。
- (2) 利用者の工賃向上と自立に向けた意思決定支援の推進
  - ア 施設外就労は、コロナ感染症対策を講じながら公園の花壇整備、除草作業など を実施しました。また、不特定の方が集まる公共施設や福祉施設等の清掃は、作 業別に利用者を分離するなどの感染対策を講じ実施しました。
  - イ 施設外の受託作業が減る冬場の作業として、児童手当や肺炎球菌ワクチン接種 に係る通知や啓発ポスターの封入作業、松本山雅ホームゲームスタジアムバック 封入作業など行政や地域の企業から業務発注をいただき、屋内作業の充実を図り ました。
  - ウ 資源物回収納入業者から新規回収先を5件紹介していただきました。さらに、 資源物買取価格の上昇に加え、アルミ缶と鉄くずの回収量が大幅に増えたため、 工賃の増加につながりました。
  - エ 利用者及びその家族の意思を尊重することを大切にし、アセスメントから課題 を検討し、利用者の希望に沿った個別支援計画を作成しました。
- (3) 安全管理対策と職員の資質向上
  - ア 災害対応マニュアルに沿った避難訓練を実施し、事業所全体で実施した防災訓練のほか、日常訓練で危険予知トレーニングを反復継続的に実施し、利用者が日常生活に潜む危険への注意ができるよう努めました。
  - イ より良い就労支援が提供できるように「発達障がいサポート・マネージャー」 による毎月1回の定例研修会を予定していましたが、コロナ感染症の影響で1回

のみの開催にとどまりました。このほか、長野県が主催する工賃向上セミナー、 虐待防止研修などには積極的に参加しました。

#### 3 特記事項

就労継続支援B型事業を利用していた利用者が、高齢と病気療養のため「共立学舎」の生活介護に移行しました。

### 4 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

### (1) 利用定員及び現員

(単位:人)

区分	定員		差引		
<b>上</b> 刀	(a)	元年度	2年度	3年度(b)	(b)-(a)
就労移行支援事業	8	7	6	2	$\triangle$ 6
就労継続支援B型事業	4 0	3 9	4 0	3 9	1

#### (2) 令和3年度異動状況

(単位:人)

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
就労移行支援事業	1	5	$\triangle 4$
就労継続支援B型事業	0	1	$\triangle$ 1

### (3) 年齢別状況

#### ア 就労移行支援事業

(単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	#	平均年齢	前年度平均年齢
男	2	0	0	0	0	2	24.0	21.5
女	0	0	0	0	0	0	0.0	19.0
計	2	0	0	0	0	2	24.0	20.3

### イ 就労継続支援B型事業

(単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	1 4	7	1	0	0	2 2	37.1	37.8
女	4	1 1	1	1	0	1 7	45.8	45.2
計	1 8	1 8	2	1	0	3 9	40.9	40.9

### (4) 障害支援区分認定状況

### ア 就労移行支援事業

区分	区分1	区分2	区分3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	2	0	0	0	0	0	2	_	_
女	0	0	0	0	0	0	0	_	_
計	2	0	0	0	0	0	2	_	_

# イ 就労継続支援B型事業

(単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分3	区分 4	区分 5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	3	4	7	8	0	0	2 2	2.9	3.0
女	2	1	5	7	2	0	1 7	3.4	3.3
計	5	5	1 2	1 5	2	0	3 9	3.2	3.2

(注) 障害支援区分の判定のないものは、「区分1」に計上

# (5) 地域別利用者数

### ア 就労移行支援事業

(単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	2	О	0	О	0	О	О	О	2
女	О	О	0	О	0	О	0	О	О
計	2	О	0	О	0	О	0	0	2

### イ 就労継続支援B型事業

(単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	1 6	О	1	3	1	1	0	О	2 2
女	7	О	2	3	О	2	О	3	1 7
計	2 3	О	3	6	1	3	0	3	3 9

# (6) 障がい状況

# ア 身体障害者手帳所持状況

就労継続支援B型事業

(単位:人)

区分	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体5級	身体6級	計
男	0	0	1	0	0	0	1
女	1	0	0	0	0	0	1
計	1	0	1	0	0	0	2

# イ 療育手帳所持状況

# (ア) 就労移行支援事業

(単位:人)

区分	A 1	A 2	B 1	B 2	計
男	0	0	0	2	2
女	0	0	0	0	0
計	0	0	0	2	2

### (イ) 就労継続支援B型事業

区分	A 1	A 2	В 1	B 2	計
男	8	1	1 1	2	2 2
女	5	0	1 0	0	1 5
計	1 3	1	2 1	2	3 7

# 5 生活及び活動の状況

行事等実施状況

月	行事等の内容
4月	新年度入所式、お花見
6月	農業収穫体験(安曇野市2回)、野外訓練(軽登山)、防災訓練
7月	ながのアビリンピック大会(長野市)、暑気払い(諏訪市)
8月	七夕飾り
9月	野外訓練(信州スカイパークで速歩とランチ)避難訓練
10月	図書館探索訓練、野外訓練(軽登山)、就職面接会、日帰り旅行(安
	曇野市)
11月	利用開始式、野外訓練(信州スカイパークで速歩とランチ)、調理実
	習
12月	ミニ面接会、クリスマス会 (ケーキ作り)、そば打ち体験とランチ
1月	書初め、三九郎
2月	節分
3月	慰労会
研修	発達障害サポート・マネージャーによる研修会
随時	出発の式

# 6 職種別就職の状況(就労移行支援事業)

職種	製造業	サービス業	食品製造	事務	合計
計	1	1	1	1	4

# 7 職場実習の状況 (就労移行支援事業)

J.		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人	数	2	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	17

# 8 健康管理状況 (就労継続支援 B型事業)

(1) 健康診断・検査

 実施機関	内容		実人数			延人数	
<b>天</b>	四台	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
城西病院	精神科検診	5	5	5	6 0	6 0	2 7
品川内科医院	内科検診	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5	3 3
その他の医療機関	歯科検診	2 0	2 7	_	4 0	2 7	_

# (2) 受診人数等

(単位:人・日)

区分・年度		実人数		延日数			
区ガ・ <u></u> 平度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	
受診状況	8	6	0	8 3	3 1	0	
入院状況	1	1	0	5 3	1 6	0	
施設内処置状況	1 2	6	1 2	4 0	1 2	1 2	
合計	2 1	1 3	1 2	1 7 6	5 9	1 2	

# 7 給食(就労継続支援B型事業)

(1) 年間給食数

(単位:食)

区分	元年度	2年度	3年度
利用者	7,995	7,553	6,846
職員等	6 4 4	7 9 8	7 5 5
計	8,630	8,351	7,601

### (2) 一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	2,000kcal	2,080kcal
タンパク質	7 0∼8 0 g	79.6g
脂質	4 5 ~ 5 0 g	54.5g

# (3) 食事内容及び間食状況

(単位:人)

マハ	形態	実人数				
区分	/// /// /// /// /// /// /// /// /// //	元年度	2年度	3年度		
	常食	3 7	3 9	3 8		
主食	軟飯	0	0	0		
土及	粥食	0	0	0		
	ミキサー食・ゼリー食	0	0	0		
	常食	3 6	3 6	3 4		
副食	粗刻み	0	0	0		
田以及	細刻み・刻み	1	3	4		
	ミキサー食	0	0	0		
	経管栄養	0	0	0		

# 8 工賃の状況 (就労継続支援 B型事業)

支給工賃総額 (単位:円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度		
11,352,713	10,927,077	10,961,397		

### 令和3年度 あい・アドバンス今井事業報告

#### 1 事業目標

- (1) 利用者の個々の「思い・心」に寄り添った支援の提供
- (2) 地域ニーズに応えた支援の展開
- (3) 「あい・アドバンス今井」の個性を活かした質の高いサービスの提供
- (4) 利用者が安全に生活できる生活環境と支援体制の充実

#### 2 取組結果

- (1) 利用者の個々の「思い・心」に寄り添った支援の提供
  - ア 利用者一人ひとりの状態や本人の希望を聞き取ったアセスメントを職員間で 共有し、本人の特性にあった支援を行いました。また、支援記録ソフトを活用し、 個別支援計画を作成することで職員の情報共有を活発にし、支援方法の検証と改 善に努めました。
  - イ 新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ感染症」といいます。)の感染拡大 を受け、室内での行事やドライブなどを実施し、閉じこもりがちな利用者のスト レス軽減を図りました。
  - ウ コロナ感染症により帰省や面会が困難となるなか、利用者の状態を考慮しつつ、 精神的な安定につなげるため、家族との連絡を密にしました。
- (2) 地域ニーズに応えた支援の展開
  - ア 短期入所や日中一時支援などの利用希望に対し、コロナ感染症の警戒レベルに 応じて、感染予防対策を徹底しながら受入れを行いました。
  - イ 強度行動障がい者や支援の困難な利用者の受入れは、入所利用者と分離するなど感染予防対策を講じながら、圏域の関係機関と連携した協力体制の維持に努めました。
- (3) 「あい・アドバンス今井」の個性を活かした質の高いサービスの提供
  - ア 「強度行動障害支援者養成研修(実践研修)」や自閉症セミナーを職員が積極 的に受講するとともに、施設内で研修内容の伝達を行うことで、職員の専門性を 高めました。
  - イ 虐待防止、権利擁護及び自己決定支援に関する研修を行うとともに、毎日の引継ぎ時に職員行動規範の読み合わせ、人権意識の高揚を図りました。
  - ウ 施設運営の透明化を図るため、地域の民生児童委員に地域コーディネーターと して施設訪問による評価を依頼し、感染症対策を講じて4回実施しました。
- (4) 利用者が安全に生活できる生活環境と支援体制の充実
  - ア 感染源を施設内に持ち込まないため、早期の情報収集に加え、毎日の施設内消 毒を実施し、感染予防対策を徹底しました。
  - イ 利用者の怪我、事故防止につなげるため、職員の支援方法を検討・工夫し、安 全な環境で生活できるよう検証と改善を行いました。

ウ 例年行っている災害訓練・防犯訓練は、コロナ感染症感染予防対応のため、関係機関からの講師受入れを中止して実施しました。また、施設内の防災訓練は計画どおり実施しました。

#### 3 特記事項

#### (1) 見守りカメラの導入

令和3年9月末に男性居室棟廊下に2台、女性居室棟廊下に2台の計4台の見守りカメラを設置しました。その結果、利用者の発作の状態やトラブルの状況等を映像で確認することが可能となり、怪我等の早期発見と原因の把握に繋げることができました。

#### (2) 感染症対策

定期的に「感染症対策委員会」を開催し、地域の感染状況に応じた対策を検討しました。また、毎日の館内消毒、清掃の実施、日常の換気などの基本的な感染予防に加え、実際に感染者が出た場合の感染拡大防止策の検討を重ねました。その結果、令和4年3月に職員1人がコロナ感染症に感染しましたが、検査の徹底や施設内のゾーニング等が功を奏し、利用者及び職員への感染拡大を防止することができました。

### 4 利用者の状況(令和4年3月31日現在)

#### (1) 利用定員及び現員

(単位:人)

区分	定員		差引		
<b>上</b> 刀	(a)	元年度	2年度	3年度(b)	(b)-(a)
生活介護事業	6 0	7 1	6 8	6 6	6
施設入所支援事業	5 0	4 9	5 0	4 7	△ 3

#### (2) 令和3年度異動状況

(単位:人)

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	2	4	$\triangle 2$
施設入所支援事業	1	4	△3

#### (3) 年齢別状況

ア入所

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	4	8	1	6	6	2 5	57.0	56.3
女	7	7	2	3	3	2 2	48.5	50.6
計	1 1	1 5	3	9	9	4 7	53.0	53.4

イ 通所 (単位:人)

区分	18~39 歳	40~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上	計	平均年齢	前年度平均年齢
男	8	1	1	0	2	1 2	43.1	43.8
女	2	2	0	0	3	7	53.0	52.0
計	1 0	3	1	0	5	1 9	46.7	47.9

# (4) 障害支援区分認定状況

ア入所

(単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	2	9	1 4	2 5	5.4	5.5
女	0	0	0	3	6	1 3	2 2	5.4	5.5
計	0	0	0	5	1 5	2 7	4 7	5.4	5.5

イ 通所 (単位:人)

区分	区分1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	1	1	6	4	1 2	5.0	5.0
女	0	0	0	1	3	3	7	5.2	5.0
計	0	0	1	2	9	7	1 9	5.1	5.0

(注) 障害支援区分の判定がないものは、「区分1」に計上

# (5) 地域別利用者数

ア入所

(単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	1 6	0	5	1	0	2	0	1	2 5
女	1 4	1	0	3	0	3	0	1	2 2
計	3 0	1	5	4	О	5	0	2	4 7

イ 通所 (単位:人)

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
男	7	О	2	2	О	1	О	О	1 2
女	5	1	О	О	О	1	О	О	7
計	1 2	1	2	2	О	2	О	О	1 9

# (6) 障がい状況

# ア 身体障害者手帳所持状況

区分	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体5級	身体6級	計
男	2	3	2	0	1	1	9
女	2	1	0	2	0	0	5
計	4	4	2	2	1	1	1 4

# イ 療育手帳所持状況

1	療育	<b>手帳所持</b> 場	(	(単位:人)		
	区分	A 1	A 2	В 1	В 2	計
	男	1 9	2	4	0	2 5
	女	1 8	0	3	1	2 2
	計	3 7	2	7	1	4 7

#### ウ 精神障害者保健福祉手帳所持状況 (単位:人)

			_	
区分	1級	2級	3級	計
男	1	0	0	1
女	2	0	0	2
計	3	0	0	3

# 5 生活及び活動の状況

# (1) 行事等実施状況

月	行事等の内容
4月	15日 お花見会、18日 家族会総会(書面議決)、23日 安否確認
- / •	訓練
5月	19日 避難訓練
6月	11日 花壇の花植え(地域交流)、22日 布団交換
	2日 松本市医師会検診、7日 七夕会、13・20日 新型コロナ
7月	ワクチン接種(1回目)、18日 家族会ボランティア作業・班別懇談会
	①・理事会、29日 避難訓練
οЯ	3・10日 新型コロナワクチン接種(2回目)、10日 第三者委
8月	員・納涼祭、26日 防犯訓練
9月	14日 大規模災害対応訓練、21日 夜間総合避難訓練
1 0 🗎	12日 布団交換、19日 あい・今井祭、31日 家族会班別懇談会
10月	②·理事会
1 1 🛭	11日 総合防災訓練、13日 感染症研修会、25日 インフルエン
11月	ザ予防接種
12月	2日 感染症研修、16日 クリスマス会、21日 虐待防止研修①
1月	6日 虐待防止研修②、14日 三九郎
2月	4日 節分豆まき
ე □	3日 ひな祭り、3・9日 新型コロナワクチン接種(3回目)、5日
3月	家族会会計監査、理事会(書面議決)、8日 避難訓練
语生	精神科検診(毎月)、訪問歯科治療(毎月)、訪問マッサージ(毎月)、
通年	訪問理髪 (毎月)、地域コーディネーター (毎月)
通年	環境整備(毎月)、館内消毒・清掃(毎日)

# (2) クラブ及びレクリエーションの実施状況

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
音楽クラブ	6	200	楽器演奏、合唱、ダンス等
軽運動クラブ	7	1 6 8	ボール遊び、ダンス、散歩等
アートクラブ	2	4 5	絵画の作成、カレンダー制作等
計	1 5	4 1 3	

# 6 健康管理状況

(1) 健康診断•検査

(単位:人)

実施機関	内容	実人数			延人数		
天旭饿民	四台	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
村井病院	精神科検診	5 8	6 0	5 7	5 7 6	598	684
医師会	内科検診	5 7	5 6	5 3	5 6	5 4	5 3
その他の医療機関	歯科検診	5 7	5 6	4 8	6 1 8	6 1 0	5 7 6

(2) 受診人数等

(単位:人・日)

巨八 左座		実人数		延日数				
区分・年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度		
受診状況	5 9	5 0	4 4	1,675	1,701	1,244		
入院状況	5	2	4	1 5 4	9 8	175		
施設内処置状況	1 4	1 5	1 5	1,753	3 0 6	1,825		
合計	7 8	6 7	6 3	3,582	2,105	3,244		

# 7 給食

(1) 年間給食数

(単位:食)

区分	元年度	2年度	3年度
利用者	53,467	54,285	54,007
職員等	2,594	1,779	1,853
計	56,061	56,064	55,860

# (2) 一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	1,800kcal	1,807kcal
タンパク質	63~72g	72.6g
脂質	4 0 ~ 4 5 g	51.1g

# (3) 食事内容及び間食状況

(単位:人)

区分	形態		実人数	間食	
	形態	元年度	2年度	3年度	间及
	常食	4 7	5 5	5 6	
÷ &	軟飯	0	0	0	
主食	粥食	1 1	1 1	8	
	ミキサー食・ゼリー食	2	2	2	
	常食	4 1	4 9	3 4	週7回
司本	粗刻み	9	8	2 4	
副食	細刻み・刻み	8	9	6	
	ミキサー食	2	2	2	
	経管栄養		0	0	

# 8 短期入所事業等実施状況 (単位:人)

区分・年度	定員		実人数		延利用日数				
公力・千段	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
短期入所事業	4	4	4	2 2	1 4	1 2	913	1,169	1,079
日中一時支援事業				1 2	9	8	3 8 3	3 2 9	3 5 7